

わたしはめだかのおかあさん

柴田・大河原 ささはら あやね

わたしのなつ休みのおもいでは、めだかをそだてたことです。おかあさんもわたしも小さいめだかが大すきで、かってみいたいとおもっていました。

ある日、おかあさんが、

「あやね、めだかのたまごをもらってきたよ。」

といって、小さくてまるい水そうをもってきました。なかをのぞいてみると、くろいめだかのたまごがたくさん入っていました。

「わあ、すごい。めだかのたまごがいっぱいある。」

その日から、わたしとおかあさんとでめだかをそだてるこ